AXIS XC1311 Explosion-Protected Horn Speaker

Class/Division 1およびZone 1認証済みネットワークホーンスピーカー

危険区域 (Class I Div 1、Zone 1 IIC) 向けに世界的に認定されたこのオールインワン型ネットワークホーンスピーカーにより、ライブ、スケジュール、イベントトリガーの音声メッセージを再生することができます。例には、リアルタイムの悪天候アラートや、分析機能を搭載したカメラが保護具の未着用を検知した場合に、保護具の着用を促す録音済みのリマインダーなどがあります。さらに、ノイズの多い環境でも、ホーンと内蔵のデジタル信号処理によりメッセージが大きい音量でクリアに伝わります。PoEは、電源と接続の両方に1本のケーブルを使用するため、設置が簡単です。さらに、AXIS Audio Manager Edgeがプリインストールされているため、システムの健全性の監視、コンテンツの設定と優先順位付け、ゾーンとユーザー権限の設定をリモートで行うことができます。

- オールインワン型のスタンドアロン装置
- 標準ネットワークへの接続
- 危険区域での使用向けに世界中で認定を取得
- 設置、設定、使用が容易
- 優れた柔軟性、スケーラブル、高い費用対効果

JAPAN CYBERSECURITY LABEL
ジャパン・サイバーセキュリティ・ラベル
JC-STAR
Registered ID: 2025050200000244
Information-technology Promotion Agency, Japan (IPA)

AXIS XC1311 Explosion-Protected Horn Speaker

音声ハードウェア

エンクロージャー
圧縮ドライバー付きリエントラントホーンスピーカー

最大音圧レベル
>110 dB (距離 1 m)

周波数応答
400 Hz～5.5 kHz

指向特性
54°

入出力
内蔵スピーカー

アンプの説明
内蔵型7 WクラスDアンプ

デジタル信号処理
内蔵および事前設定済み

音声管理

AXIS Audio Manager Edge
内蔵機能:
- 最大200台のスピーカーを20のゾーンに分割できるゾーン管理。
- 音楽およびライブ/事前録音されたアナウンスのコンテンツ管理。
- コンテンツをいつ、どこで再生するかを決定するスケジューリング。
- 緊急メッセージがスケジュールに割り込むようにするコンテンツの優先順位付け。
- システムエラーのリモート検知のための健全性監視。
- どの機能にどのユーザーがアクセスできるかを制御するユーザー管理。
詳細については、*axis.com/products/axis-audio-manager-edge/support*のデータシートを参照してください

AXIS Audio Manager Pro
より大規模で高度なシステム向け。別売。
仕様については、*axis.com/products/axis-audio-manager-pro/support*のデータシートを参照してください

AXIS Audio Manager Center
AXIS Audio Manager Centerは、マルチサイトシステムのリモートアクセスと管理のためのクラウドサービスです。
仕様については、*axis.com/products/axis-audio-manager-center/support*のデータシートを参照してください

音声ソフトウェア

ストリーミング
単方向

エンコーディング
AAC LC 8/16/32/48 kHz、G.711 PCM 8 kHz、G.726 ADPCM 8 kHz、Axis μ-law 16 kHz、WAV
MP3 (64 kbps～320 kbps、モノラル/ステレオ)
固定/可変ビットレート
サンプリングレート8 kHz～48 kHz

システムインテグレーション

アプリケーションプログラミングインターフェース
VAPIX®など、ソフトウェア統合のためのオープンAPI。*axis.com/developer-community*で仕様を入手可能。
One-Click Cloud Connection (ワンクリッククラウド接続)。

ビデオ管理システム
AXIS Camera Station Edge、AXIS Camera Station Pro、および*axis.com/vms*で入手可能なAxisパートナー製ビデオ管理ソフトウェアに対応。

大量通知
Singlewire InformaCast®、Intrado Revolution、Lynx、Alertus

統合通信
検証済みの互換性:
SIPクライアント:2N、Yealink、Cisco、Linphone、Grandstream
PBX/SIPサーバー: Cisco Call Manager、Cisco BroadWorks、Avaya、Asterix、Grandstream
クラウドサービスプロバイダー: Webex、Zoom

SIP
サポート対象SIP機能: セカンダリSIPサーバー、IPv6、SRTP、SIPS、SIP TLS、DTMF (RFC2976およびRFC2833)、NAT (ICE、STUN、TURN)
RFC 3261:INVITE、CANCEL、BYE、REGISTER、OPTIONS、INFO
DTMF (RFC 4733/RFC 2833)

イベント条件
音声:音声クリップ再生、音声検知、スピーカーテスト結果
呼び出し:状態、状態変化
装置ステータス:IPアドレスのブロック/削除、ライブストリームアクティブ、ネットワーク接続断絶、新しいIPアドレス、システムの準備完了
エッジストレージ:録画中、ストレージの中断、ストレージの健全性に関する問題を検知
I/O:デジタル入力、手動トリガー、仮想入力
MQTT:サブスクライブ
スケジュール、繰り返し:スケジュール

イベントアクション
音声:自動スピーカーテストの実行
音声クリップ:再生、停止、
I/O:I/Oを一度切り替え、ルールがアクティブな間はI/Oを切り替え
LED:ステータスLEDが点滅、ルールが有効な間にステータスLEDが点滅
ライトとサイレン:ライトプロファイルの実行、ルールが有効な間にライトプロファイルを実行、アクティビティの停止
MQTT:パブリッシュ
通知:HTTP、HTTPS、TCP、電子メール
録画:音声を記録、ルールがアクティブな間は音声を記録
セキュリティ:設定の消去
SNMPトラップ:送信、ルールが有効な間に送信

設置支援機能内蔵
テストトーンの検証と識別

機能モニタリング
オートスピーカーテスト (内蔵マイクロフォンでの試験)

認証

サプライチェーン
TAA準拠

EMC
EN 55035、EN 55032 Class A、EN 61000-6-1、EN 61000-6-2
オーストラリア/ニュージーランド:
RCM AS/NZS CISPR 32 Class A
カナダ : ICES(A)/NMB(A)
日本: VCCI Class A
米国 : FCC Part 15 Subpart B Class A

安全性
CAN/CSA-C22.2 No62368-1 ed. 3、IEC/EN/UL 62368-1 ed.3

環境
IEC 60068-2-1、IEC 60068-2-2、IEC 60068-2-14、IEC 60068-2-27、IEC 60068-2-78、IEC/EN 60529 IP66/IP67、NEMA 250 Type 4X

ネットワーク
NIST SP500-267

サイバーセキュリティ
ETSI EN 303 645、BSI IT Security Label、FIPS-140

爆発
CSA C22.2 No. 60079-0、CSA C22.2 No. 60079-1、CSA C22.2 No. 60079-31、IEC/EN 60079-0、IEC/EN 60079-1、IEC/EN 60079-31、UL1203、UL 60079-0、UL 60079-1、UL 60079-31

認定
ATEX
II 2 G Ex db IIC T5 Gb
II 2 D Ex tb IIIC T91°C Db
証明書: UL:24 ATEX 3177X
IECEx
Ex db IIC T5 Gb
Ex tb IIIC T91°C Db
証明書:ULD 24.0006X
cULus
Class I Div 1 Groups A、B、C、D T5
Class I Zone 1 AEx db IIC T5 Gb
Zone 21 AEx tb IIIC T91°C Db
証明書:E538733
INMETRO
Ex db IIC T5 Gb
Ex tb IIIC T91°C Db
証明書: IEx 24.0202X
IA
Ex db IIC T5 Gb
Ex tb IIIC T91°C Db
証明書: MASC S/24-8423X
OSHA Taiwan
Ex db IIC T5 Gb
Ex tb IIIC T91°C Db
証明書: TD050170
PESO
Ex db IIC T5 Gb
証明書: P620272/1
JPEx
Ex db IIC T5 Gb
Ex tb IIIC T91°C Db
証明書: DEK25.0023X

ネットワーク

ネットワークプロトコル
IPv4/v6[1]、HTTP、HTTPS[2]、SSL/TLS[2]、QoS Layer 3 DiffServ、FTP、SFTP、CIFS/SMB、SMTP、Bonjour、UPnP™、SNMP v1/v2c/v3 (MIB-II)、DNS、DynDNS、NTP、PTP、RTSP、RTP、TCP、UDP、IGMPv1/v2/v3、RTCP、ICMP、DHCP、ARP、SOCKS、SSH、NTCIP、SIP

1. *IPv4*のみでの音声同期。
2. この製品には、*OpenSSL Toolkit*で使用するために*OpenSSL Project (openssl.org)* によって開発されたソフトウェアと*Eric Young (eay@cryptsoft.com)* によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

サイバーセキュリティ

エッジセキュリティ
ソフトウェア: 署名付きファームウェア、総当たり攻撃による遅延からの保護、ダイジェスト認証、OAuth 2.0 RFC6749 クライアントクレデンシャルフロー/OpenID認定コードフローによるADFSアカウント一元管理、パスワード保護、Axis Cryptographic Module (FIPS 140-2 level 1)
ハードウェア: Axis Edge Vaultサイバーセキュリティプラットフォーム
セキュアエレメント (CC EAL 6+)、AxisデバイスID、セキュアキーストア、セキュアブート

ネットワークセキュリティ
IEEE 802.1X (EAP-TLS、PEAP-MSCHAPv2)[3]、IEEE 802.1AR、HTTPS/HSTS[3]、TLS v1.2/v1.3[3]、Network Time Security (NTS)、X.509証明書PKI、ホストベースのファイアウォール

文書化
AXIS OSハードニングガイド
Axis脆弱性管理ポリシー
Axis Security Development Model
AXIS OSソフトウェア部品表 (SBOM)
ドキュメントをダウンロードするには、*axis.com/support/cybersecurity/resources*にアクセスしてください。
Axisのサイバーセキュリティのサポートの詳細については、*axis.com/cybersecurity*にアクセスしてください。

システムオンチップ (SoC)

モデル
NXP i.MX 8M Nano

メモリー
1024 MB RAM、1024 MBフラッシュ

概要

ケーシング
IP66、IP67およびNEMA 4X各規格準拠
耐衝撃性アルミニウム
カラー:RAL 3000
M20ケーブル側エントリ (×2)
1/2インチNPTケーブル側エントリ (×1)

電源
Power over Ethernet (PoE) IEEE 802.3af/802.3at準拠
Type 1 Class 3
通常7 W、最大12.95 W

コネクター
ネットワーク:RJ45 10BASE-T/100BASE-TX PoE

信頼性
24時間365日の常時動作向けに設計。

動作温度
温度：-40 ° C～60 ° C (-40 ° F～140 ° F)
湿度 : 10～100% RH (結露可)

保管条件
温度：-40 ° C～65 ° C (-40 ° F～149 ° F)
湿度: 5～95% RH (結露不可)

寸法
製品全体の寸法については、このデータシートの寸法図を参照してください。

重量
4220 g (9.3 lb.)

パッケージ内容
ホーンスピーカー、インストールガイド、ターミナルブロックコネクター、リングターミナル、所有者認証キー

オプションアクセサリー
Pole Mount ExCam XF、Pole Mount ExCam XPT
その他のアクセサリーについては、*axis.com/products/axis-xc1311#accessories*を参照してください。

言語
英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語 (簡体字)、日本語、韓国語、ポルトガル語、ポーランド語、中国語 (繁体字)、オランダ語、チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、タイ語、ベトナム語

保証
5年保証、*axis.com/warranty*を参照

製品番号
*axis.com/products/axis-xc1311#part-numbers*で入手可能

サステナビリティ

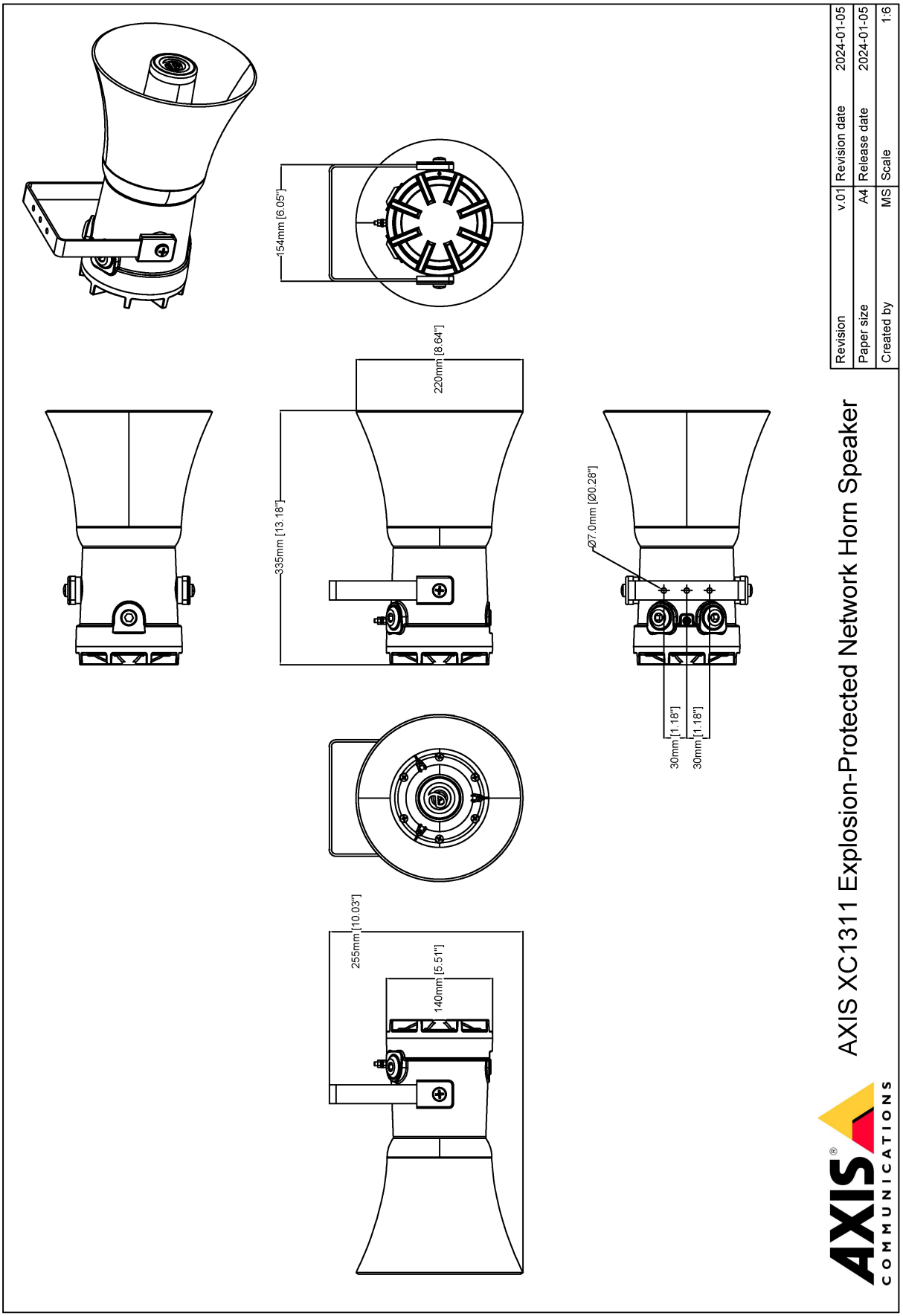
物質管理
PVC不使用
RoHS (EU RoHS指令2011/65/EUおよびEN 63000:2018)に準拠
REACH (EC) No 1907/2006に準拠。SCIP UUIDについては、*echa.europa.eu*を参照

3. この製品には、*OpenSSL Toolkit*で使用するために*OpenSSL Project (openssl.org)* によって開発されたソフトウェアと*Eric Young (eay@cryptsoft.com)* によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

材料
OECDガイドラインに従って紛争鉱物について検査済み
Axisの持続可能性の詳細については、*axis.com/about-axis/sustainability*にアクセスしてください。

環境責任
axis.com/environmental-responsibility
Axis CommunicationsはUN Global Compactの署名企業です (詳細については*unglobalcompact.org*を参照)

寸法図面


154mm [6.05"]
220mm [8.64"]
335mm [13.18"]
Ø7.0mm [Ø0.28"]
30mm [1.18"]
30mm [1.18"]
255mm [10.03"]
140mm [5.51"]
AXIS COMMUNICATIONS
AXIS XC1311 Explosion-Protected Network Horn Speaker
Revision v.01
Revision date 2024-01-05
Paper size A4
Release date 2024-01-05
Created by MS
Scale 1:6
© 2024 Axis Communications
www.axis.com

注目の機能

Axis Edge Vault

Axis Edge Vaultは、Axisの装置を保護するハードウェアベースのサイバーセキュリティプラットフォームです。すべてのセキュアな運用が依存する基盤を形成し、装置のIDを保護して、完全性を保護し、不正アクセスから機密情報を保護する機能を提供します。たとえば、**セキュアブート**は、装置が**署名付きOS**でのみ起動できるようにするため、サプライチェーンにおける物理的な改ざんを防止することができます。署名付きOSの場合は、デバイスで新しいデバイスソフトウェアが検証されてからインストールが受け付けられるようになります。また、**セキュアキーストア**は、安全な通信で使用される暗号情報 (IEEE 802.1X、HTTPS、Axis装置ID、アクセスコントロールキーなど) を、セキュリティ侵害が発生した際に悪意のある抽出から保護するための重要な構成要素です。セキュアキーストアや安全な通信は、Common CriteriaやFIPS 140認証のハードウェアベースの暗号計算モジュールを通して提供されます。

Axis Edge Vaultの詳細については、*axis.com/solutions/edge-vault*にアクセスしてください。

AXIS Audio Manager Edge

AXIS Audio Manager Edgeは、Axisネットワークスピーカーに組み込まれているソフトウェア管理システムです。これにより、ローカルサイトの音声システムを管理および制御することができます。AXIS Audio Manager Edgeは、比較的単純なニーズを持つ小規模から中規模のサイトに適しています。

IP66/IP67

IP保護等級 (侵入保護または国際保護) は2桁のコードで定義され、1桁目は固形異物の侵入に対する保護レベルであり、2桁目は水の侵入に対する保護レベルを示しています。

IP66 – 製品は防塵構造で、強力なジェット噴流により製品が損傷することはありません。

IP67 – 製品は防塵構造であり、連続的な水没により製品が損傷することはありません。

NEMA 4X

NEMA 4XはIP56と同等であり、固形異物の侵入、飛沫やホースによる放水の侵入、氷の形成、および腐食に対して、筐体内の機器にある程度の保護を提供します。

VAPIX

VAPIXは登録商標であり、当社独自のオープンなアプリケーションプログラミングインターフェース (API) です。VAPIXにより、当社の製品を幅広いソリューションやプラットフォームに統合できます。

SIP

セッション開始プロトコル (SIP) は、異なる当事者間でマルチメディアセッションを開始、維持、終了するプロトコルです。通常、これらのセッションは音声で構成されますが、ビデオで構成されることもあります。SIPの最も一般的な用途には、音声およびビデオ通話用のインターネットテレフォニーや、IPネットワークを介したインスタントメッセージングなどがあります。

詳細については、*axis.com/glossary*を参照してください。

© 2024 – 2026 Axis Communications AB. AXIS COMMUNICATIONS、AXIS、ARTPEC、VAPIXは、スウェーデンおよびその他の国で登録されたAxis ABの登録商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。記載内容は予告なく変更されることがあります。